



校長室だより 2

黒部市立村椿小学校

文責：校長 寺島紀子

令和7年10月16日

第21号

ようやくこの頃は秋らしい天候が続くようになりましたね。朝、登校する子供たちの服装にも長袖スタイルが目立つように（長ズボンの子は、まださほど多くありませんが…）なっています。

校長室の扉はエアコンの時期はなかなか開けっぱなしにはできないのですが、この頃はほとんどの時間帯、廊下側の扉を全開にしています。「文字どおり『風通しのよい校長室』になれば…」という願いどおり廊下を通るときに校長室をのぞいて話をしてくれる子や、休み時間に遊びに来てくれる子がいます。授業中とはいうと、デスクワークをしながらいろいろな教室からの音が聞こえてきます。「今日はにぎやかだな／静かに落ち着いているな」等々、その時々校内の気配を感じながら、時折校内を回ります。

今年度前半の学校の取組を振り返って

★アクションプランの振り返り

今年度の学校の重点課題（アクションプラン）については、4月の学校説明会の際に資料を基にお話ししたとおりです（学校HPでも「学校運営プラン」「学校評価」のページで紹介しています）。今回、子供自身の評価や外部の皆さんからの評価、体力テストの数値結果等を基に、前半期の達成状況について中間評価を行い、今後のさらなる方策について計画しました。その概要は下表のとおりです。

	アクションプラン1	アクションプラン2	アクションプラン3
	助け合う子：温かい人間関係づくり	よく考える子：学力向上	元気でやりぬく子：健康づくり
達成目標	時と場に応じた挨拶「あいてをみて・いつでも・さきに（自分から）・つたえる（場に応じた声の大きさで）」を1日5回以上できる児童の割合が全体の90%以上	「学習中に自分の考えを（発言、ハンドサイン等で）表し、伝えることができる」児童の割合が全体の80%以上	日頃から体力の向上に取り組み、毎学期の体力テスト（重点項目：握力、上体起こし）の記録が伸びた児童の割合が全体の80%以上
達成状況 中間評価	○「できるようになったかな」チェックの結果（児童の自己評価） ・「自分から進んで気持ちのよい挨拶を5回以上した」…86% ○校外学習、出前講座等の外部指導者からの評価 ・「自分から進んで気持ちのよい挨拶をしていた」…4段階中平均3.2	○「できるようになったかな」チェックの結果（児童の自己評価） ・「先生や友達の話の相手の方を見て最後までよく聞くことができた」…94% ・「学習中に、自分の考えを表し（発言、ハンドサインなど）、伝えることができた」…88% ※「聞く」「話す（表す）」ともに目標の80%を達成しており、昨年度の1学期（82%）と比べても全体的に向上している。 ○校外学習、出前講座等の外部指導者からの評価 ・「話す人の方を見て話を聞いていた」…4段階中平均3.0 ・「進んで話をしようとしていた」…4段階中平均3.7 ※「質問する児童が多く、積極性を感じました」との自由記述が1名	○「できるようになったかな」チェックの結果（児童の自己評価） ・「体育の学習を除き、1日30分以上体を動かした」…84% ○5月と9月の体力テストの結果の比較 ・重点項目「握力」：9月の記録が伸びた児童の割合…52% ・重点項目「上体起こし」：9月の記録が伸びた児童の割合…41% ※1日30分以上の運動習慣はおおむねあるが、重点項目の伸びはあまり見られなかった。
今後の方策の例	○相手を意識した挨拶を推奨する。 ・児童会「さわやかあいさつ運動」と「さわやかあいさつさん」の紹介 ・学校だよりや学年だより等での啓発	○安心して発言できる学級風土づくり ○ハンドサインを生かした指名も行い、どの子も自分の考えを伝えられるような機会を増やす。 ○「話す・聞く」の具体的な目当てをもち、事後に振り返りを行う取組	○業間運動の充実 ・雨天時は体育館でのサーキットメニューで体幹と握力の強化を図る。 ・なわ跳び運動や縦割り班での運動遊びの機会を設ける。

★第2回学校運営協議会にて

10月9日（木）、第2回学校運営協議会が会議室にて行われました。それに先立ち、委員の皆さんは同日開催の学習参観等の様子も参観されました。

会では、第1回以降の学校の教育活動について学校から説明し、アクションプランの中間評価についても報告しました。その後、委員間での協議となり、さまざまな意見が出されていました。

<主な意見>

・田植えや稲刈りは子供にとって貴重な体験である。村椿地区は農家は多くても実際の農作業を経験している子供は少ないので。

・更生保護女性会でこれまで4月と9月の2回挨拶運動を行ったが、9月の方が「挨拶をしよう」とす

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております！

校長室だよりへの感想・学校へのご意見をお願いします 切り取り できればお名前 or 児童名（ ）

る子供が多かったように感じた。「自分から挨拶をする子供に」という取組は大切だ。

- ・「学力向上」の面でも、「健康づくり」の面でもスマホのルールを各家庭で決めていくことが大切だと感じる。使う時間のルールもだが、使い方のルールも大切。なかなか簡単ではないが。

このほか、2学期はクラブ活動の中で数名の地域の方々に指導ボランティアをお願いしていること、また、今後、高学年児童向けの「地域に学ぶ研修会」を開催する予定であり、運営協議会委員の皆さんにも参加していただきたい旨を学校から説明し、これについての承認を得ました。

これからも学校では、本校が目指す助け合う子 よく考える子 元気でやりぬく子の達成に向けて、日々の取組を積み重ねていきます。保護者・地域の皆さんには、各家庭や地域社会でも取り組めることを提案していただき、学校と共に教育活動に参加していただけるとありがたいです。

グッド(賛成)のハンドサイン 3年教室にて



ペア学年での「さわやか運動」※2・5年



業間のサーキット運動より「クマさん歩き」

シリーズ「教室におじゃまします」10月14日(火)4年国語科の巻

授業前の黒板には机上に用意するものが明記されていました。授業に関係ないものは片付ける、という注意にもなっているようです。初任の黒坂先生が少しずつ編み出した方法のよう。いいですね。

この日はまず漢字スキルを使って新出漢字の練習でした。便、博、浅の3文字の音訓の読み方や部首、筆順等を全体で押さえ、あとは各自で練習です。皆、やり方に慣れて取り組んでいました。

その後は教科書へ。名作「ごんぎつね」の読み取りでした。今日は5の場面からです。何回か音読を行い(何回も丁寧に繰り返していました)、その後、ワークシートに書き込みをしながら、「ごん」と「兵十」の気持ちを整理していきました。

兵十と加助の会話の内容をこっそり聞いている「ごん」。自分の隠れた行いを「神様のおかげ」と誤解され、『わりに合わないなあ』と思うごんの気持ちを押さえました。2人のあとをずっとつけてきた「ごん」の気持ちと、翌日、それでもまた兵十の家に栗をとどける「ごん」の行動(その結果、兵十に撃たれてしまうことになる…)を丁寧に読み取り、あれこれと想像していくことは、子供の心を豊かにすることにもつながると思いました。



<おまけのひとりごと>今週はペア学年で挨拶当番を行う「さわやか運動」の週でした。14日(火)は1・6年、15日(水)は2・5年、16日(木)は3・4年、そして最終日17日(金)はボランティアと計画委員会が担当です。いつもは遅めの時間に登校する子も、担当の日は早めに登校してピロティに立ち、自分から声を出して(or出そうとして)います。そしてどの子もいい笑顔! 「元気だから挨拶する」というよりも「挨拶をするから元気になる(元気が出てくる)」ということが実感できればと思います。

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想などをお知らせください。お待ちしております!

校長室だよりへの感想・学校へのご意見をお願いします 切り取り できればお名前 or 児童名()